

- ・巻頭コラム(杉浦良)
- ・お知らせ(阿波銀福祉基金助成、研修旅行)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

212号/2026.2

Since 1984

「リユース・リサイクルー42年を振り返るー」

杉浦 良

1984年、今から42年ほど前に「人も物も活かされる街づくり」を掲げて、様々なハンディーを抱えたメンバーたちと、リユース・リサイクル活動を始めました。

当時はリユースという言葉もリサイクルという言葉も、全くと言っていいほど通じません。廃品回収はまだいいですが、ゴミ屋さん、クズ拾い屋さんといった言葉が普通だった頃です。

当時、作業を行う障害者施設の仕事内容は内職が中心でした。洗濯バサミやハンガーの組み立て、造花づくりや千切りとって、型取りされた菊の花をちぎり取る作業、段ボール箱の組み立てや鍵の組み立てなど、少し高度な作業もありますが、基本は第2次産業の下請けが中心でした。納期もなく好きな時に作業ができるメリットもありますが、私もトライしましたが、時給50円を確保するのがやっとでした。

仕事の幅が広く、社会とつながれる作業はないのか？そんな思いを抱きながら、食品や農作業など生もの生き物を扱うものは、スタッフの力量が大いに必要なので、腐らず旬もないリユース・リサイクル活動に目を付けました。

そして柳澤壽男監督が撮影現場入りしていた、盛岡市民福祉バンクを見学させてもらい、その規模と店舗数の多さに驚いたものでした。

(福祉ドキュメンタリー作品「風とゆききし」1989年155分)



太陽と緑の会の
リユース・リサ
イクルの活動は
ここから始まり
ました
(徳島市入田町
月ノ宮)

当時徳島にリサイクルショップはありませんでした。質屋さんの横に質流れ品を販売するコーナーがありましたが、あくまでお金を貸すことで質屋さんは成り立っています。スピーカー付き軽トラックで、段ボールや古新聞古雑誌をチリ紙と交換したり、買い取ったりするチリ紙交換車が往来していました。そんな時、無料で古紙を提供して下さる方はほとんどおりません。

「なんか訳のわからんことを始めた所があるが・・・一生懸命やっているようなので・・・少し協力してみようか・・・チリ紙交換に出しても大したお金にはならないし・・・」

そんな心ある方々のお陰と、近藤整形外科の駐車場をお借りして毎月開くガレージバザーで、家具や電化製品や自転車、古本や衣類や雑貨などのリサイクル品を買って下さる、有難い方々のお陰で、何とか続けることができました。

「新品を買えない貧乏人が来るところ・・・」

「新品をどんどん作って売って、古いものはどんどん潰して捨てたらいい・・・」

「綿が育たない東北ならいざ知らず、阿波の地で、古着など、普通の人は買わんよ・・・」

「障がい者にゴミ屋さんさせるつもり・・・」

そんな言葉に傷つきながらも

「岩手の盛岡でリサイクル品販売が成り立つなら、四国徳島でも、工夫すれば成り立つはずだ・・・」

そんな思いがありました。

徳島で最初のリサイクルショップも、マスコミや口コミのお陰で、少しずつ買って下さる方が増えました。

最初に好意的な眼差しを向けて下さったのは、マイナーな方々とアメリカやイギリスといった外国の方でした。当初リユース家具や電化製品が売れ筋となりましたが、次第に家具を買われる方が減り、電化製品が主力となりました。それに続いたのがリユース自転車です。主力の電化製品も家電リサイクル法が出来たことや、基盤ごとの交換や修理自体が出来ないなどといった製品の変遷で、主力の座を降りることになりました。古本や雑貨や食器や調理器具といったウエイトも高くなり、主力の座はリユース自転車に移りました。ただ生産拠点が台湾、中国に移り、ホームセンターでは円高の影響で、婦人車が 6980 円で販売されるようになって、主力の座から脱落します。次に台頭したのは、古着や昭和レトロといったアイテムです。古本は主力になることはありませんが、堅調でした。販売スペースを広げ、ジャンルごとに整理しましたが、いつしか買って下さる方が激減し、本が溢れるようになりました。そして、その後を埋めたのが靴やカバンです。

今は円安事情もあり、リユース自転車も堅調ですが、大量に安い中国製の自転車が出回り、町の自転車屋さんが姿を消すなかで、自転車修理をする方が少なくなったのでしょうか。自転車の在り方が変わったと感じます。

徳島で一軒もなかったリサイクルショップも、買い取りをするお店が、至る所で見られるようになりました。ただ全盛を誇ったリサイクルショップも姿を消すところが増え、その後を埋めるようになったのが、金やブランド品を扱うお店です。

気が付けば 42 年が過ぎました。相変わらず無料引き取りで、段ボール、古新聞、古雑誌、廃食油やアルミ缶、鉄缶、鉄屑や一升瓶、ビール瓶も回収しています。一部の家具や電化製品、大量の食器等は、お引き取りできない場合もありますが、自転車はどんなものでも回収しますし、衣類も洗濯さえしてあれば、季節を問わずお引き取りしています。今も愚直な活動を続けています。

お知らせ

ふれあい フェスティバル

12月20日、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の南部地区にある作業所・事業所が実行委員会を組んで、阿南市那賀川スポーツセンターにて、第20回ふれあいフェスティバルが開かれました。

県内10カ所の作業所・事業所から130名ほどのメンバーが集まり、歌あり踊りあり、手話コーラスありクイズありの交流事業が展開されました。クッキー、ケーキ、手芸品からコーヒー、焼き肉のたれ、冬瓜、紅はるか、大根、勝浦みかんまで取り揃えた店がありました。お弁当を食べた後のコーヒーコーナーは長蛇の列で盛況でした。

各作業所・事業所から出題されたクイズ、「あわっこ」のハンドベル、「らふしあ」のアンパンマンマーチ（手話付）、「虹」のスコープ三味線、「あなん」のしあわせなら手をたたこう、「ほっとハウス」の踊り、手話コーラスが披露されました。成人式を迎えた「アスカ」「あなん」のメンバーには記念品が手渡され、岩佐義弘阿南市長からお祝いの言葉も頂戴しました。

とかく自分たちの作業所、事業所だけに目が行きがちな今日この頃。小さな作業所・事業所が横に繋がることの大事さを、改めて思います。

スポーツセンターを使わせて頂いた市長さん、実行委員会を組んでふれあいフェスティバルを行った南部の作業所・事業所の皆さん、有難う御座いました。

阿波銀福祉基金助成

阿波銀福祉基金様からの助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会月の宮作業所の冷蔵庫を購入させて頂きました。

これまで月の宮作業所では、19年前に購入したナショナル製の冷蔵庫を使用してきました。令和5年11月に故障し、通常であればそこで買い替えとなるのですが、霜取水受け皿の蒸発用ファンを代表の杉浦が自ら交換修理し、何とか復活させて、今日まで使い続けてきました。

ただ、さすがに、この先あと何年使うことができるだろうか、と考えていたところ、助成金のお話があり、購入させて頂くことにしました。

今度の冷蔵庫はアクア製で、容量は以前のナショナル製のものとほぼ同じですが、電気消費量は以前の590kwh/年から254kwh/年とほぼ半減しました。19年前とは大違いの省エネです。

阿波銀福祉基金様、有難うございました。



研修旅行報告

令和8年1月12日、13日、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ19名が参加して、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を愛媛県で行いました。

1月12日朝、藤西阿観光の21人乗りマイクロバスにて当会を出発し、入野PAで休憩。昼食は、メンバーのOさん、Fさんによる手づくりのおにぎり。静岡県のSさんから頂いたお米(種もみから、無農薬・無肥料で育てた「亀の尾」という品種(コシヒカリ、ササニシキの原種米))を20合炊いて握りました。飲み物は、お客様から頂いた2リットルのお茶と市民の皆様から頂いた新品の紙コップを持参。

その後、愛媛県の「とべ動物園」を見学しました。気温は低かったものの、晴天に恵まれ、いろいろな生き物を間近で見ることができました。その日は松山市の道後温泉で宿泊し、翌朝帰路につきました。

藤西阿観光さん、お世話になりました。

頂きました

11月23日、西山きんこさんが令和8年のカレンダーをプレゼントして下さいました。大判のものは太陽と緑の会レジの横の壁に、卓上用カレンダーはレジ横に掲示しています。

「カレンダー作りも26年やってるのよ・・・」の言葉に「毎年毎年新しいものを作るのは大変で、ストレスがかかりますね。」と答えると「まあそのストレスをエネルギーにしてやってるわ・・・」

きんこさんのカレンダーをめくると、午年にちなみ、笑う馬が登場。こんな世相なので、少し肩の荷が下りる素敵な作品です。有難うございました。

当会2人目の一年間ボランティアとして参加し、スタッフとしても活躍してくれたFさんからココアが送られてきました。「ココア心とからだを温めてくださいね」と言葉が添えられていました。有難うございます。

お客様から令和7年産の玄米を頂きました。市民の皆様から頂いたおコメは、メンバーさんの昼食で使わせて頂いたり、生活が大変なメンバーさんに配らせて頂いたりして、活用させて頂いています。本当にありがとうございます。

12月21日の昼食はいつもの鶏肉カレーに代わって、美味しい豚汁でした。前日の夜、理事のKさんが作って下さったものです。メンバーもこの日を楽しみにしていました。

毎年この時期に手作りの豚汁を作りに来て下さるKさん。今年で9回目になりました。冷えた体に温かい豚汁が染み渡ります。

本当にありがとうございました。



太陽と緑の会からの助成(第64回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金(古紙、鉄屑、空き缶1キロに対し3円、廃食油1キロに対して20円)令和6年度後期分(令和7年度前期配分)9万1500円が当会の太陽と緑の福祉事業団に支給されました。

これを、各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

①社会福祉活動への助成

徳島いのちの希望(社会福祉法人徳島県自殺予防協会)(電話による相談活動)1万円
NPO法人 聴覚・ろう重複障害者生活支援センター(地域活動支援センターの運営等)3000円

大阪釜ヶ崎喜望の家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動)5000円

②国際協力活動への助成

ペシャワール会(アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画)1万円

モヨチルドレンセンターを支える会

(ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動)2万円

③環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会(川を守り、水を活かしたまちづくり)3000円

④その他の活動への助成

ハートフルゆめ基金(ハートフル社会貢献基金)2万円

NPO法人日本NPOセンター(NPOの社会的基盤の強化を図る活動)1万円
支援金振込手数料406円
次期繰越1万94円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、32年間で累計1663万1962円の助成を行ってきました。



メンバー米田太さんの 自作詩集ができるまで

- ① 米田さんが手書きの詩の原稿を持ってくる
- ② 手描きの原稿は、そのままの状態では読みづらく、判読困難な箇所もあるため、杉浦が米田さん本人に一言一句確認していく
- ③ それをもとに、杉浦がパソコンで詩集の原版を作成する
- ④ 米田さんが描いてきた表紙の絵をスキャナーで取り込み、パソコンでレイアウト編集、あとがきをつけて、詩集の原版が完成
- ⑤ 杉浦が印刷機で印刷し、メンバーさんが帳合、ホッチキス止め、製本テープ貼りを行って完成

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2025 年 11 月 1 日～2026 年 1 月 31 日 § （紙面の都合上、敬称は略させていただきます）

ご寄付を下された皆様

筒井、佐藤、森本、匿名、尾上、三好商事自動車部、米田

（郵便振替口座）北岡、辻、佐藤、堺、都築、飯田、杉浦、久米、三木、瀧倉、野田、松原、本田、伊地知、荻野、松田、松尾、足立、西澤、太田、阪野、杉本、太田、森

品物を持って来て下さった皆様（郵送含む）

○徳島市○長船、濱田、杉山、日下、山本、岡、近藤、大西、黒岩、東條、中原、山崎、王、高野、古藤、堀江、美馬、佐々木、古高、フードバンクとくしま、山下、ヤマモト、榊本、加納、福永、渡辺、泊、杉浦、半場、笹田、大上、久米、高橋、近藤、菅井、岩崎、後藤、阿部、いえみせ、坂東、茂村、曾我部、高橋、西森、矢野○石井町○谷川、森口、中川、藤井、廣田、新居、木下○藍住町○犬伏、瀧山、福山○北島町○藪原○吉野川市○渡部○松茂町○板東○板野町○吉川、田淵○神山町○畔永、佐々木○小松島市○田中、徳政、大正、清家○阿波市○笠井、吉兼、三橋、鈴田、犬伏○上板町○吉田、河野、世戸○阿南市○岡、森○美馬市○三宅、加藤、広川○鳴門市○東條、元木○河野○埼玉県○本田、亀倉○群馬県○山本○愛知県○松浦○静岡県○中村○香川県○松村○京都府○木村、井上○東京都○瀧倉、三木、小山○長野県○吉川○福岡県○永峰○高知県○塩田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○福田、玉津、西林、(株)モビリティメーターサービス、元木、米津、前田、大北、田中、岡本、米田、村山、森尾、上野、中井、福永、板東、山西、森宮、是安、平井、寺橋、小倉、林、橋本、野本、川原、恰、佐川、市瀬、山本、渡辺、松前、宇治製薬、幸田、八万町婦人会、寺田、青木、仁木、大櫛、山室、岡村、新居、河野、美馬、工藤、玉谷、上村、中村、宮前、西山、内田、コマドリ美容院、鈴木、玉川、健祥会学園、大櫛内科、論田小学校、吉村、出口、佐藤、山ノ井、山下、松崎、森、明石、松本、八木、七條、穴吹ハウジング、木村、岡田、柿本、三木、久米、大櫛内科、廣瀬、福本、吉見、堺、松浦、佐野、浜田、佐々木、中田、徳島キリスト教会、北、富永、佐藤、島田、宮越、坂東、武田、中山、安全タクシー、森西、宮本、森本、原田、角田、平田、ミノワ、鎌田、池田、板東、岡久、相原、小笠、佐々木、松前、尾上、藤永、岡本、加地、浜口、中川、美馬、浜、山ノ井、穴吹コミュニティー、戎、大櫛、グローバルアシスト、横山、松家、藤田、上原、関口、松本、小野、廣瀬、出口、北、上田、酒井、畠山、穴吹ハウジング、高岡、佐川、増田、山本、スナックインディアン、元川、氏家○鳴門市○久龍、南大森、前田、南、黒田、米田○板野町○原田、吉川○小松島市○木下、金村、阿部、林、森井○藍住町○花木、日下、秦、阿部○石井町○三木、太田、矢上○吉野川市○ハダ、筒井、上村、中川○上板町○中島○北島町○山下

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。旬のお野菜や果物(白菜、大根、水菜、ほうれん草、チンゲンサイ、文旦など)を持って来て下さった皆様、お飲み物やお菓子を下さった皆様も有難うございました。お野菜は作業所の食材として大切に使用させて頂いております。諸物価が高騰している中、本当に有難いです。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。

編集後記～豊かさの意味

東京から徳島に越してきて、様々なハンディを持ったメンバーとお付き合いするようになって 32 年。東京で暮らしていた頃は、朝晩すし詰め of 電車で揺られる日々を送っていましたが、すっかり徳島の環境に慣れてしまったようで、たまに東京に帰ると、あまりの人の多さに疲れてしまうこともあります。

東京 23 区で発売された、新築マンションの平均価格は 1 億 3613 万円 (令和 7 年) (不動産経済研究所調べ)、新築戸建ての平均価格は

8672 万円 (令和 7 年 12 月) (東京カンテイ調べ) にもなるそうです。

住宅ローンの金利も上がってきている中で、普通のサラリーマンが普通に働いても住む家すら買えないとなると、若い世代が未来に希望を持ちにくくなり、少子高齢化も一段と加速していくことになるかもしれません。

副首都構想の是非はともかく、東京一極集中の問題はなかなか深刻です

ちなみに、四国の徳島では人口が減り続けていて、空き家も年々増えています。数百万円で手に入る中古の戸建て住宅もたくさんあり、さらに市場に出ていない空き家が山ほどあります。

(にもかかわらず、いまだに田畑をつぶして造成した宅地に、新築の家が建てられたりしていますが…)

田舎暮らしは不便だ、というイメージもありますが、車の運転とインターネットができれば、日常生活でさほど不便を感じることはありません。

(交通網が発達した都会で暮らしているとクルマはぜいたく品に思えることもありますが、田舎の車は都会の自転車と同じようなものです。当会のハンディを持ったメンバーさんも、以前に比べると、車やバイクで通って来る方が少しずつ増えてきました。)

スーパー、ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店、ホームセンター、コンビニもあり、インターネット(Eコマース)を利用すれば必要なものは手に入ります。

しかも、近所の農産市をのぞけば、地元の農家の皆さんが作られた、採れたてのお野菜が所狭しと並んでいます。

(朝早く行かないと、めばしいものは売り切れになる人気の農産市もあります)。

ケーブルテレビと動画配信サービスが普及した今日、地上波テレビ局の数が少ないことも大した問題ではなくなりました。

(そもそも、テレビを見ない、という方も増えているようですが…)

海、山、川が身近にあり、アウトドアに興味をお持ちの方であれば、ハイキング、サイクリング、トレイルランニング、オートキャンプ、カヤック、サーフィン、野鳥観察、釣り、ダイビング等、休日の楽しみも増えるでしょう。

仕事と教育の問題に折り合いをつけることができれば、東京よりも豊かな暮らしが送れるかもしれません。

もちろん、人生において何に重きを置くかは人それぞれであり、それによって「豊かさ」の意味も変わってくるとは思いますが…

(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費: 正会員 1 万円 (総会議決権)

準会員 1,000 円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名: 特定非営利活動法人太陽と緑の会